

なにげなく

何げなく書き始めて出版してしまふ

そんなちよつと前では考へられなかったやうなことが
今はできてしまふ

クオリティー？

そんなものはここでは問題にならない

むしろクオリティーといふ言葉で出版されたものを評
価すればとても低いものがほぼコスト〇で出版できて
しまふといふところに私は大きな価値を感じてゐる

いまバッハのオーボエ協奏曲を聴いてゐる

曲を聴きながら深い思索はできないしむしろそのため
にこそ曲を聴いている

まづはじめにさつき書いた日記（これは紙にペンで書
いたものだ）を何となく写してみる

いやただ写すだけではなく氣になるところは少し改
變するかもしれない

「

子供達との關はりには眞實の人間といふ存在に對しての關
はりであることが多かった

社會的な制約が少ない（彼らの中にそれ程社會的な觀
念の洗脳が根付いてゐない）時期なので彼らが表現す
る感情や行動は自分の眞心にもとづいた直接的なも
のであることが多い

私はさういふ場合必ず私の眞心をもって對應するの
でそこからとても深い信賴關係心と心を分かち合ふ關
係が生じる

二十年以上前に關はった人達なのに私がその名前まで
はつきりと覺へてゐるのはさういふ信賴關係をつくる
ことができた子達が居たからだ

総じて大人同士の関係といふのは社会的な観念を前提とした関係が多い

コンピュータでいへばOSがあつてそこで動くアプリの間の関係性みたいなものが多いといふことだ

子供との関係はハードウェア同士の関係になることが多かった

もちろんこちら側が社会的な通念(OS)のもとで彼らと接するならさういふ事は起こらないだらうが私は彼らと接する時それを取り払って裸の状態になることが出来た

なぜなら彼らがそのやうな状態を表現しやうとしてゐたからだ

しばしば「教育」といふのはその裸の状態に社会的な価値観といふ「服」を着せる行為として扱はれる

私はそのやうな「教育」を子供達に對して行ふことに強い反発心を持ってゐた

だから私が大學生くらゐで初めて子供の勉強をまかされた時「共育」といふ言葉を好んで自分の行為の名稱としてゐた

ただそれにはどこか違和感があつた

彼らに何ら傳へるものがなく何も軸がなくてただ「教へ合ふ」関係は友達といつてしまへば済むからだ

もちろん私と彼らは友達だったのだが私は何かそれに加へてひとつ軸となるものすなはち私の存在が彼らにとって何らかの指針進む指針になるやうな軸を言語化したかつた

もちろんそれは言語化しなくても存在はしたのだらうしだからこそ私は彼らの心のどこかで「先生」でもあつたのだらうがこの時私はその軸を言語化して明確化することはいっさうその軸を發展させたかつたのではないかと思ふ

—

ここまでが日記に書いたことだ

ちなみにこれは **vim** といふテキストエディタを縦書きにするといふプラグインを自分で創ってそれで書いてゐる

まだ少し不具合もあるがなかなか快適に書けてゐる

頭に浮かぶことをそれほど考へずに書いてゐるのでとりとめもないことこの文章は埋めつくされるだらうが氣にせず進めていかう

3

私はこれまでいくつかアマゾンで書籍を出版してきた

何十年前前は「書籍を出版する」などといふことは特定の選ばれた人だけに許されるやうな行為だったが（つまりある程度の實力をつけた人だけができる領域だったと思ふ）適當に何か書いて誰でも出版できてしまふので特別に「おお！」などと言ふことでもないしとりわけ私の場合人からの評価を無視してゐるやうなものなので意味不明ともとれるやうな書籍を出版して平氣な顔をしてゐる

ただちよつと氣になつてゐたことがあつてそれは「週間よこ塾」といふ全然週間でもなんでもない記事を書いたときある話題に触れたまま何も回収しないでここまで來てゐまつてゐた

それが若干今でも氣がかりなのだ

人の思索は時のともに變はるものだが現在私がそれについてどう思つてゐるのかをすこしここにしたためてくのも悪くないと思ふ

話題はここぞといふときに戦ふといふテーマについてだったやうに思ふ

私はこれまで何回か子供達と向き合つて「これは戦ひだったな」とその時もその後も思へるやうな場面に遭遇してきた

たぶんそれは一般的に考へられてゐるやうな「子供の實力を伸ばす為の聖なる戦ひ」みたいなものでは全然ないと思ふ

私が「戦ふべき」といふ場面は子供と對峙する場合でも大人と對峙する場合でも（一應いまは子供とか大人とかの定義は曖昧なままにしてをく）同じと考へてゐるそれは「私自身の尊嚴を傷つけやうとするものと戦ふ」といふことだ

戦ひ方はその都度異つてゐるだらうが自分の尊嚴を守るといふこの一點は譲るべきではない

私が大切だと思つてゐるのはこの「戦ひ」を「教育のため」とか「子供のため」とか無意識に美化したりさうにはその戦ひを行ふ前提が「みんなさうしてゐる」とか「社會で生きていくには」といったある種の集合の要請といふ途方もない力を身にまとい一人の人間を攻撃するといふやうな卑劣なことはするべきでないといふことだ

私が見てきた限りにおいてだが結構な數の大人がさういふ行為をしてしまつてゐる

これははっきりいつて一人の人間を多數で叩くといふいはゆるいぢめと何ら變はらない

大人特に教育者と稱するやうな人間が日常的に自分でも知らずにいぢめを行つてゐるのである

そしてさういふ人に限つて「いぢめは良くない」などと言つてゐる

戦ひはもっぱら自分の尊嚴を守るためにもしくは大切な人の尊嚴を守るために行ふのが私は良いと思つてゐる

私達は（少くとも私はさうだったのだが）戦ふといふことに對して極度に蓋をされる洗脳を受けてゐる

みんなと仲良くしなければ

暴力は良くない

言葉の暴力も良くない

何が暴力なのか實は良く分からないまま文言だけが反芻される

自分の尊厳を守るのに躊躇すべきではないのだ

「自分を大切にする」といふのが生きる上で根本的に重要だと思ふからだ

そしてこれは各人にあてはまる普遍的な事柄だと思ふ

さあこの程度で「教育」みたいなことに對する思ひにひと區切りついたかな？

いやまだ少し言ひたいこともあつた

日記に書いた私が重要だと考へた「軸」とは何だったのか手短に記さうと思ふ

ひとことで言ふならそれは「歴史觀」であると思ふ

でももっと本質的には「自分を知る」といふことなのかも知れない

ただ歴史觀も自分を知るといふこともある境地に達すればそれで終りといふことではなく常に發展し續けるものだと考へてゐる

さういふ意味で自己を知ることにもそれに伴ふ歴史觀も流動的で有機的

それ自體生命と言ってよいものではないだらうか

私の「教育」の軸に對する旅は

「私は何も教育されて來なかつた」

といふ認識から始まる

算數も國語も理科も社會もすなはち學校で習ふやうなことは「教育」でもなんでもなかつた

私はさういふ認識をある時點で持つに至つた

言つてをくが私はさういふことが無駄なことだと言つてゐるわけではない

ある種の「軸」が定まつてゐないとさういつた算數や國語や理科や社會が自分の中であまり意味を持たないいや意味を持てない状態になつてしまふのだがそれを教はつてゐなかつたと言ひたいのだ

ちなみに今この「軸」を認識するのはそれほど容易なことではない

なぜかといふと現在の教育機関といふのはもともとこの「軸」を分からなくするやうに「意圖的」に構成されたといふ歴史があるからだ

そしてその隠された「意圖」は今だに續いてゐて多くの子供達がもちろん大人もだが今だにその隠された洗脳に氣づいてゐない

もちろん氣づいてゐる大人は私の皮膚感覚でも増へつづけてゐる

しかしまだ日本人に限つてもその1%に満たないのではないだらうか

なんだか雲の上の話のやうに聞こえてゐる人も居るだらう（といふかここまで讀んでゐる人はすでに氣づいてゐる人が大半ではあると思ふが）

思ひついた一例を挙げるなら

日本には建国記念の日といふのがあるだらう

2月22日だ

あなたはそのいはゆる「建国」がどのやうにして行はれたか説明できるだらうか

私はこれを理科でいふリトマス紙のやうにとらへてゐる部分があつてこの建國といふものを説明できる人は現在の教育機関による洗脳から解放されてゐる人であると思つてゐる

もし説明が難しいのであればあなたは どうして小学校といふ公的機関を卒業してゐるのに自分の國がどうやって創られたか説明できないのか自分に問ふてほしい

ここで「何かがおかしい」と感じられる人は洗脳が魂の中心まで達してゐない人であるから學んでいけばこの洗脳を解くことができるだらう

7 さてそろそろ昼すぎてお腹がすいてきたのでこの邊にしておかうか

ただ最後にこの文章のルビ振りが自動でできるやうに設定できたら良いと思ふ

少々技術的な話になるので意味不明に聞こえる人も多いだらうがこのテキストにルビであることを示す記号を追加するのはまう自動でできる

これを `latex` にする際実行するコードは `Haskell` で書いてゐるがそこにルビ用テキストから實際のルビを生

成するコードを追加してやる (ルビ用テキストを `latex` のルビ用コードに置きかへるといふことだ)

これを `pdf` にして最後に `calibre` といふソフトを使って `pdf` から `epub` 文章をつくりこれを `Amazon` にアップしてみやうと思つてゐる

もしこの文章が電子書籍で讀めてゐるなら私の目論見が成功したといふことだ

さらにルビがどこかで振られてゐるならコードの實装も成功したということである

それでは最後に

おめでたう!!